



ASTENA Minerva

アステナミネルヴァ株式会社
珠洲市上戸町北方4字177番地3



飯田港のそばに建つラボホスト(珠洲市飯田町)で行われた対談の様子

「清水社長は先ほど、継承という言葉を使いました。アステナミネルヴァも継承者

半島の先端のDNAが商品開発を加速させる

清水 半島の先端のDNAが商品開発を加速させる。アステナミネルヴァは1914年の創業以来、100年以上、ヘルスケアの領域で事業を展開してきました。その知見を生かし、農業×ヘルスケアで新しい価値を創出から生み出す、それがNAIAのコンセプトで、第一段は洗顔フォーム、化粧水、美容液です。

清水 農業から出てくる米ぬかや職人技から生まれる酒粕の発酵のベクターを配合しています。本来であれば捨てられるものから有効成分を抽出して商品に仕上げ、これまでも違う形で消費してもらっています。一次産業や伝統文化を次世代につなぐために考えています。珠洲市にいて、農業や伝統文化は、東能登の景観や生態系と密接な関係にあるのだと実感します。一次産業をす



アステナミネルヴァ株式会社 代表取締役社長
アステナホールディングス株式会社 常務執行役員

清水 雅楽乃氏

しみずのうたの 1981年生まれ、大阪府出身。一橋大学経済学部卒業。アクセンシアに勤務した後、コンサルティング会社で業務改革、M&Aなどに携わる。2021年アステナホールディングス入社、同年12月から現職。

らないと美しい能登は守れないと考えています。果敢、農業の影響によって、また農業を再開できない事業所もたくさんあります。珠洲市の素材を生かした商品もまだまだ少ない状況です。いろんな方に活用いただき、市の知名度やイメージ、魅力の向上につながることを目指しています。

清水 珪藻土や皮、海洋深層水などもこうした自然に活用できないか、研究を進めています。例えば珪藻土は水分をよく吸ってくれるので、フェイスパックの材料に使えるかもしれません。

清水 珠洲市は珪藻土の埋蔵量が全国一を誇ります。用途は珪藻土やコンロが主ですが、より付加価値の高い活用方法が見

清水 珪藻土や皮、海洋深層水などもこうした自然に活用できないか、研究を進めています。例えば珪藻土は水分をよく吸ってくれるので、フェイスパックの材料に使えるかもしれません。



珠洲の地域資源を活用したヘルスケアブランド「NAIA」の第一弾商品

清水 行政としてはまず、市内各地の育生をしつかり成し遂げ、その上で新たな魅力づくりにも取り組むたいと考えています。例えば、本州初となる

お願いたします。

珠洲の地域資源を生かしたヘルスケアブランドが誕生

アステナミネルヴァ(珠洲市)は、医薬品を製造、販売するアステナグループで地域資源を発掘し、社会課題の解決につながる新規事業を創出する「ソーシャルインパクト戦略」を担う会社です。これまでの取り組みの成果などについて、同社の清水雅楽乃社長と同社が拠点を構える珠洲市の泉谷清寿裕市長が語り合いました。

素晴らしい自然環境に引かれて本社機能移転

アステナグループは2021年6月、本社機能の一部を東京から珠洲市に移転しました。その経緯を教えてください。

清水 アステナグループでは医薬品や化粧品、健康食品、化粧品などの製造と卸販売を手がけています。珠洲市とは、移転時にアステナホールディングス(東京)の社長を務めていた若原孝太郎(現取締役)が旅行で能登を訪れたことをきっかけに接点が生じました。珠洲市は素晴らしい自然環境や伝統文化がある一方、半島の先端に立地し、過疎や高齢化といった社会課題が顕著です。私たちは1914年の創業以来、社会貢献を重視しているこ

ともあり、珠洲市が抱える社会課題の解決に向け、地を足元付けた活動をできればと移転に踏み切りました。

泉谷 東証プライム市場上場企業が進出してくるのですから、珠洲市にとっては夢のような話です。市としては、最大の課題である人口減少に何とか歯止めをかけたこと、大学と連携した人材育成事業やSDGsの推進、東能登国際芸術祭の開催などを継続的に進めており、アステナグループの拠点ができることで、新たな動きの起点になってくれるのではと期待しています。

また、私たちが同じ課題を抱える地域は多く、共通の価値を創出するようビジネスを創出するとの考えには、大いに感動を受けました。

清水 東京で展開している事業をそのまま珠洲市に持ち

移転後はどのようなことに取り組んだのでしょうか。

清水 東京で展開している事業をそのまま珠洲市に持ち



珠洲市長

泉谷 清寿裕氏

いずみや・ますひろ 1964年生まれ、珠洲市出身。早稲田大学政治経済学部卒業。野村證券で勤務した後、泉谷薬子代表、珠洲生必代表取締役を経て、2008年6月に珠洲市長に初当選。現在5期目を務める。

ついでに学生インターンシップの場を設けてくれたことも、これからの地域の可能性を高める取り組みだと思っています。珠洲産の規格外カボチャの種から抽出したオイルの販売など、能登産のアイディアの一部はビジネス化に向けて動き出しています。

清水 市内の高校生の多くは大学進学と同時に県外に出て、そのまま就職してしまいがち。地元でやりたい仕事がないから、自分で起業するの

地域の課題に耳を傾け 共に解決策を考え行動

移転後はどのようなことに取り組んだのでしょうか。

清水 東京で展開している事業をそのまま珠洲市に持ち

移転後はどのようなことに取り組んだのでしょうか。

清水 東京で展開している事業をそのまま珠洲市に持ち

移転後はどのようなことに取り組んだのでしょうか。

清水 東京で展開している事業をそのまま珠洲市に持ち

人々が作り上げてきた伝統 思いがあればいつかは復興

昨年1月に能登半島地震、9月には東能登半島と相次いで災害に見舞われま

清水 道路や上下水道、渡岸や港と珠洲市は特に災害で大きな被害がありました。加えて住宅の被害が極めて大きく、約3分の2が半壊以上で

も一つの歴史だと伝えるのが狙いです。泉谷 花土やNTT西日本など、アステナグループさんと交流のある名だたる企業とつながり生まれた点も大変うれしく思っています。清水 商品を、福に企画したり、珠洲市を創修の場にしてもらったりしています。都会と連携して物事を考えることが、いい刺激になると考えています。